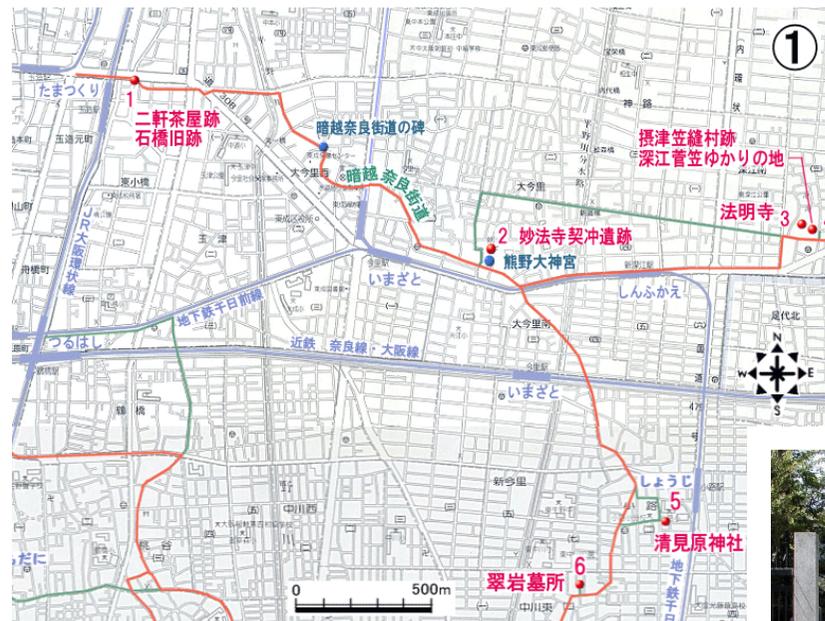


[3] 平野区北部

- 17 **旭神社**（平野区加美正覚寺一丁目 17-30）
- 18 **畠山政長墓所**：室町幕府の将軍補佐役の一人であった畠山政長は、家督相続で争い、応仁の乱（1467）の一因をなした。乱は 11 年後に沈静化したが、政長と一族の義就・基家父子との対立は続き、明心2年（1493）正覚寺に本陣を置いた政長は敗れ、自刃した。このとき、壮大な正覚寺の伽藍も焼失してしまった。（平野区加美正覚寺二丁目 6-37）
- 19 **奥田邸**：奥田家は代々鞍作の庄屋をつとめていた。現在の屋敷の建築年代は明らかでないが、江戸時代初期の豪農の家と考えられ、重要文化財に指定されている。（平野区加美鞍作一丁目 8-5）
- 20 **平野の黄金水**：平野は低湿地で飲料に適した井戸が少なかったが、この井戸だけは良質の水が湧き出していた。上水道が普及するまで酒造用にも利用するなど、平野の命の水であった。（平野区平野東二丁目 11、平野公園北東入口横）
- 21 **平野郷樋尻口門跡**：戦国時代の平野郷は、自衛のために周囲に堀をめぐらした、いわゆる環壕集落であった。13カ所の出入口には地藏堂とともに門番屋敷を設けて警備にあたった。ここにあった樋尻口は、八尾久宝寺方面への出入口であった。（平野区平野東二丁目 11、平野公園北西、交番横）
- 22 **赤留比売命神社**（平野区平野東二丁目 11、平野公園西隣）
- 23 **全興寺**（平野区平野本町四丁目 12-21）
- 24 **長宝寺**（平野区平野本町三丁目 4-23）
- 25 **大念仏寺**（平野区平野上町一丁目 7、門前に小林一茶の句碑がある。）
- 26 **平野環壕跡**：平野の環壕はほとんどが埋め立てられてしまったが、杭全神社の東側に僅かにその跡が残る。（平野区平野宮町二丁目 1、杭全神社門内東側）
- 27 **杭全神社**（平野区平野宮町二丁目 1）
- 28 **坂上広野磨墓**：平安時代初期（800 年頃）に東国の攻略に功績のあった坂上田村麿の子で、当地を領有し永住した。平野の地名はこの「広野」がなまったものと言われている。（平野区平野市町一丁目 8、坂上公園内）
- 29 **含翠堂跡**：七名家の一人 土橋友直が享保2年（1717）に発議し創設したもので、経書講読・国学・医学・算学等を教えたほか、飢饉に備えて基金を積み立て、救済活動も行った。（平野区平野宮町二丁目 9-22）



20 平野環壕跡



6 翠岩墓所

くらがりこえ 暗越奈良街道

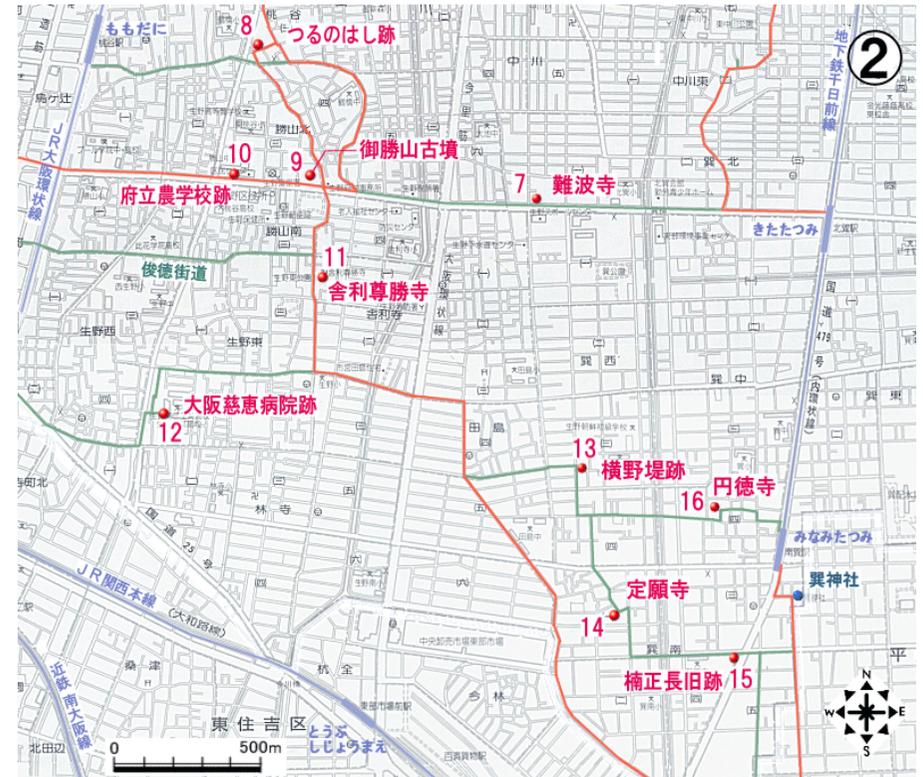
玉造から今里を経て枚岡・奈良へ向かうこの街道は、生駒山系の暗峠を越えるところからこの名がある。峠越えは楽ではないが、大和川に沿って走る古代の奈良街道に比べて距離が短いので大いに利用された。

大阪市内では、今里付近が比較的古い町並みを残しており、往時を偲ぶことができる。



[2] 生野区中南部

- 7 **難波寺** (生野区巽北一丁目 7-18)
- 8 **つるのはし跡**:「日本書紀」仁徳天皇14年の条に「猪甘津に橋為す…號けて小橋と曰ふ」との記述があり、これが文献に登場するわが国最古の橋であるが、この場所にあった「つるのはし」がこれにあたると考えられている。名の由来は、鶴が多く飛来したからとも言われ、また「津の橋」がなまったからとも言われる。(生野区桃谷三丁目 17-22)
- 9 **御勝山古墳**:岡山とも呼ばれ、前方後円墳であったと推定される。後円部は原形をとどめるが、前方部は道路(勝山通)と公園に姿を変え、周濠は西側にその名残りと思われる地形が認められるのみである。(生野区勝山北三丁目 16)
- 10 **大阪府立農学校跡**:明治21年(1888) 農業振興の指導者育成のため、堺に農学校が開設され、2年後 当地に移転した。大正14年(1925)3月 再び堺へ戻るまでここにあり、現在の大阪府立大学へ発展していった。(生野区勝山北三丁目 13、生野区民センター前)
- 11 **舍利尊勝寺** (生野区舍利寺一丁目 2)
- 12 **大阪慈恵病院跡**:明治 20 年代の大阪には病院も少なく、医療施設は貧弱であった。そうした社会情勢を背景に、生活困窮者を対象に緒方惟準・高橋正純らが中心になって「慈恵会」を組織し、病院を運営した。現在 吹田市にある大阪市立公済院附属病院の前身である。
(生野区生野東二丁目、生野工業高校構内)
- 13 **横野堤跡**:日本書紀によると、仁徳天皇は「堀江」の開削(難波の高津宮の北=天満橋付近、茨田堤の築造など、大いに治水事業を進めたが、この横野堤も仁徳時代に築かれたものとされる。
(生野区巽西三丁目 9)
- 14 **定願寺** (生野区巽南一丁目 10-10)
- 15 **楠正長旧跡**:正長は、楠正成亡きあとを継いだ三男 正儀(正行の弟)の子として生まれた。そして当地に住み、応永19年(1412) 得度して定願寺を建立、一族の菩提を弔った。
(生野区巽南四丁目 2)
- 16 **円徳寺** (生野区巽中四丁目 8-26)



8 つるのはし跡



11 舍利尊勝寺